

# 2023年度 事業報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本顎咬合学会

## 1 事業の成果

- (1) 第41回学術大会は4年ぶりに実開催し、3,652名の参加があった。また地方主要都市での支部学術大会を6回開催し、1,060名の参加があった。
- (2) 咬合フォーラムを大阪のオービックホールで開催し、192名の参加があった。
- (3) 認定医教育研修会と指導医研修会を共催として実開催し、180名（歯科医師175名、歯科技工士3名、歯科衛生士2名）の参加があった。
- (4) 認定教育研修、資格の更新等の事業を活発に行ったことにより、期末の在籍数は指導医243名、認定医2,894名、指導歯科技工士24名、認定歯科技工士247名、指導歯科衛生士15名、認定歯科衛生士397名となった。
- (5) 2023年5月に一般社団法人日本歯科専門医機構の補綴歯科専門医の認定を受けた。また、10月12日に厚生労働省医政局医療広告ガイドラインの一部改正により、補綴歯科専門医として広告可能となった。
- (6) 学会誌を3回、広報誌（ニュースレター）を3回発行した。また、会員向け・国民向けホームページやメールマガジン、SNSなどで動画配信を中心に積極的な広報活動を行った。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
顎咬合学に関する学術大会 (The Annual Meeting of The Academy of Clinical Dentistry) の開催事業	第41回学術大会開催 テーマ： 「顎咬合学を語ろう！ 専門医時代に向けて身につけるべき知識と技術」	6月17日(土) 6月18日(日)	東京国際フォーラム	200名	歯科・口腔衛生関係者 3,652名	121,589
市民公開講座等による一般市民を対象にした咬み合わせに関する社会教育活動事業	公開フォーラム テーマ： 「お口の健康を受けて健康長寿を目指そう」  新書出版 「長生きしたけりゃ「咬む」のが一番」	公開フォーラム 6月18日(日)  新書出版 6月6日	東京国際フォーラム	100名	歯科・口腔衛生関係者、一般参加者 1,000名	1,916
顎咬合学に関する会誌 (The Journal of The Academy of Clinical Dentistry) 及び会報の発行事業	学会誌「咬み合わせの科学」及びニュースレター(会報誌)の発行、また当学会と提携している International Academy of Contemporary Dentistry (iACD) の発行する複数言語(日本語、英語、中国語、スペイン語)で公開される国際オンラインジャーナル「Journal of Interdisciplinary Clinical Dentistry」(JICD)への投稿を通して、知識・技術の普及、情報公開及び社会教育活動を行った。	学会誌： 43巻 特別号 5月 43巻1号 7月 43巻2号 1月 43巻3号 3月 ニュースレター： No.90 5月 No.91 9月 No.92 2月 JICD： Vol.4, No.2. 8月 Vol.5, No.1. 3月	事務局(委員会)	30名	歯科・口腔衛生関係者、大学・図書館等 7,830名	30,607

顎咬合学に関する専門医、指導医、認定医、指導歯科技工士、指導歯科衛生士、認定歯科技工士、認定歯科衛生士を認定する事業	指導医・認定医・指導歯科技工士・認定歯科技工士・指導歯科衛生士・認定歯科衛生士資格の査定更新、新規認定試験の実施等	4月9日(日)	東京	50名	指導 (医・歯科技工士・歯科衛生士) 認定 (医・歯科技工士・歯科衛生士) 更新:285名	17,166
一般社団法人日本歯科専門医機構の下における歯科専門医の認定等を通じた専門知識と技術の普及振興事業	補綴歯科専門医「運用審査」申請 共通研修の企画実施	第2期運用審査 申請:11月14日 ~12月13日 ヒアリング: 2月9日 共通研修(Web) 1月25日 ~3月31日	東京	30名	指導医 250名	2,300
顎咬合学に関する研究会、研修会の開催	本部主催の認定研修会と指導医研修会を共催として開催した。 テーマ:「包括的治療を長期的予後経過より考察する」	2月4日(日)	東京	50名	歯科・口腔衛生 関係者 180名	4,538
顎咬合学に関する教育講演会の開催事業	第22回咬合フォーラムを開催した。 テーマ:「咬合治療の原点回帰2」 ~生理的な下顎位(水平的・垂直的)を診断する~	10月15日(日)	オービック ホール (大阪)	100名	歯科・口腔衛生 関係者 192名	15,053
	支部学術大会を6支部で開催した。	10月22日 ~12月10日	各支部	600名	歯科・口腔衛生 関係者 1,060名	
咬み合わせ及び関連領域の臨床疾病調査事業	九州大学歯学部と共同で臨床データの調査、研究。 松本歯科大学と共同で「歯科用合金の口腔内における化学的安定性の評価」の研究。	随時	事務局 (委員会)	10名	歯科・口腔衛生 関係者、大学等 不特定多数	12,481
ホームページ等による咬み合わせに関する広報・啓蒙活動並びに情報提供事業	噛むことの重要性を広く国民に伝えることを目的とした講演活動を展開した。 会員向け・国民向けホームページ、メールマガジン、SNS等を通して活動内容の紹介、咬合の知識及び口腔衛生思想の向上、普及を行った。	随時	事務局 (委員会)	10名	一般市民のホーム ページ利用者 不特定多数	4,215
国内外における顎咬合学に関する関係団体及び諸学会との協力、連携事業	海外有識者とのコンタクト、国内関連学会との協賛、関連団体への協力を行った。	随時	事務局 (委員会)	10名	歯科・口腔衛生 関係者、大学等 不特定多数	0

(2) その他の事業

会誌への広告掲載事業	会誌への広告の掲載を行った。	学会誌:43巻 特別号5月 1号7月 2号1月 3号3月	事務局 (委員会)	10名	歯科・口腔衛生 関係者、大学等	0
------------	----------------	--	--------------	-----	--------------------	---